

7. 事業投資効果（費用便益分析）

(2) 費用対効果（費用便益比）

便益が費用を上回ることから、事業の効率性が確認された。

【事業全体】

便益（B）	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比（B／C）
	891億円	63億円	18億円	972億円	
費用（C）	事業費		維持管理費	総費用	1.9
	512億円		1億円	513億円	

【残事業】

便益（B）	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比（B／C）
	394億円	43億円	7億円	443億円	
費用（C）	事業費		維持管理費	総費用	6.4
	68億円		1億円	70億円	

注1) 便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。

注2) 費用及び便益額は整数止めとする。

注3) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。